



暑い暑い夏が終わったと思ったら、一気に寒くなってきました。今年秋が短かった印象です。暖冬予報ですが、しっかり用心して冬支度を急ぎたいですね。先日、4年ぶりにゴルフへ行ってきました。結果は散々、右に左にボールを追いかけまわしてばかりでヘトヘトになりましたがたっぷり自然を満喫してきました。今回訪れたゴルフ場は、会社から車で15分ほどにある塩原カントリークラブです。ほぼ平坦のとても開けたコースで、那須連山がきれいに見え、秋は素晴らしい紅葉を楽しめます。その他にも那須塩原周辺はゴルフ場が多く、自然豊かな素晴らしいコースがリーズナブルな価格で楽しめます。土日でも1万円でおつりがくるコースもあります。また、終わった後の温泉も最高です。ゴルフが好きなお客様、工場見学と合わせてぜひぜひお越しくださいませ。もう少し練習して、皆様と楽しめるぐらいになりたいと思います。また、コロナで休止していた社内ゴルフコンペも来年は再開できたらなと思っています。

代表取締役 大江正孝

展示会シーズン到来

包装業界は10月～12月の間に展示会や交流展が多く開催されます。その雰囲気はコロナ前に戻りつつあると感じています。たくさんの来場者があってこそその盛り上がりですね。10月に開催されたJAPAN PACK2023では、お取引様の(株)進洋様のブースにて、弊社代表が「パッケージスペシャルトーク」に登壇、塩ビ素材についてお話をさせていただきました！

これから以下の展示会・交流会へ出展を予定しております。本紙でご案内しているバイオマス製品のフィルムも実際に展示、ご案内予定をしております。ご参加予定であれば、ぜひ弊社ブースへもお立ち寄りください。

産業交流展2023

11月20日(月)～22日(水)

東京ビッグサイト西展示棟1・2ホール 小間番号：全-32

中小企業 新ものづくり・新サービス展

12月6日(水)～8日(金)

東京ビッグサイト西展示棟 ブース：M39



トークの内容は(株)進洋様のYoutubeチャンネルにて公開されています。ご興味あるかた、ぜひお聞きいただけますと嬉しいです♪



※こちらのサンプラNEWSがお手元に届いた際、すでにイベントが終了している場合がございます。ご容赦ください。

事例・業界情報

バイオマス製品のご紹介



バイオマスPVCシュリンクフィルム『GB101』

植物由来の植物由来の可塑剤を約10%配合したバイオマスPVCシュリンクフィルムになります。PVC樹脂は、約6割を地球に豊富にある塩に由来する成分から出来ていて、石油由来の成分を約4割程度しか使用していないECO素材に加え、今回の新製品『GB101』は更に植物由来の可塑剤を使用することで非常に環境にやさしい素材にてCO2削減に貢献出来ます。



バイオマスポリエチレン+無帯電フィルム

植物由来のバイオマス原料25%と新しい持続型帯電防止剤を配合した環境配慮型のフィルムになります。こちらのフィルムに採用した帯電防止剤は、永久帯電防止フィルムで使用しておりますアイオノマー型ではなく、界面活性剤を添加したタイプでもない、あらたな帯電防止剤になります。湿度依存性がほとんど無く、安定した表面抵抗値を長時間持続します。



おからバイオマスフィルム

バイオマス資源の『おから』とポリエチレンを複合した資源の有効活用と石油由来材料の使用量を削減する環境にやさしいポリエチレンフィルムになります。石油由来原料の使用量を26%削減、PEの一部はリサイクル品を使用しております。おから由来のやさしい素材感が特徴です。



SDGsで環境配慮されたフィルムをご検討される際は、是非！是非！お声がけいただけましたら幸いです。宜しく申し上げます。

生産・品質の改善活動

～シュリンクフィルム用

押出機の設定更新～

フィルムは押出機にて空気を注入してから膨らませながら生産していますが、注入した空気は時間経過や微細な穴(ピンホール)によって抜けてしまい、幅が狭くなってしまいます。幅が狭くなるのを防ぐのが幅センサー(φ1-φ4ゲージ)という装置になります。今回、幅250mm以上の広幅用押出機の幅センサーを更新、今までよりも性能がよいものに取り換えを行いました。今回導入した装置は、フィルムの実寸を計測しながら自動で幅を制御してくれます。これにより品質が安定しロスが減りました。今後も必要な設備投資を行っていきます。



ちち〇くんの実験教室

那須塩原市内の小学校の地域文化祭にお呼びいただき、ちち〇くんの実験教室

「オリジナルペットボトルラベル作り」を体験してもらいました。みんな思い思いに絵を描き、シュリンクする時は集まって興味津々、できあがったマイボトルを大事そうにしてくれました。「どうして縮むの?」「どうしてペットボトルに水を入れておくの?」「フィルムだけお湯につけるとどうなるの?」とたくさん質問ももらって、とても楽しいひと時でした!



ペンが走り出したら止まらない。

こだわりのボトルができました。



みな、センスがよき☆☆

かわいいボトルがたくさん♪



社員紹介

定年を迎えました

さんへインタビュー★



11月、定年を迎えたさんへ特別インタビューを行いました。さんが弊社の前段階の会社へ入社したのは1984年、当時20歳! 途中2年ほど会社を離れる時期もありましたがトータル38年、この11月、満60歳を迎えました。



Q:入社したきっかけを教えてください

高校を卒業してから2年間自動車整備士として働きましたが、屋外での仕事は冬の寒が大変で、屋内での仕事、夜勤がある仕事を探しました。サンプラスチック(株)の前会社と他1社が候補が挙がり、女性社員の多いこちらの会社を選びました。というのは半分冗談で、社員の多い方が魅力に感じてこちらを選びました。

Q:ずっと原反製造の現場で活躍してきた齋藤さんですが、長く務めることができた理由、仕事の魅力を教えてください!

毎日仕事の内容が違うので飽きがこないこと。原反製造は同じ機械を動かしてフィルムを作ると同じ作業のように見えるが全く違います。作るフィルムのサイズや仕様が変われば全く違う感覚。頭の中で「次はこれ、その次はあれ。この機械はこれで、あの機械は準備始めて・・・」と組立ながら仕事をすることがとても楽しい。どれだけ効率をあげられるのか、忙しければ忙しいほど、追い込まれば追い込まれるほど面白さを感じるよ。

Q:楽しかった思い出、失敗した思い出はありますか?

機械を壊してしまった等の失敗はあるけれど、あまり叱られたことはないかな。入社した当時は同じ年代の20代が多くて勢いがあった、社内イベントも多くて、花見、ハイキング、BBQ、旅行、ボーリング大会、ソフトボール大会、等も多かった。仕事は大忙しだったけれど、そういうイベントが楽しくて思い出に残っている。

Q:仕事へのモチベーションはなんですか?

仕事が終わった後のゲームの時間! ゲーム歴は40年以上でファミコンのころからやっている。今は自宅に帰ってから寝るまでの間に3時間はしてるし、朝も起きて1時間ぐらい触ってから出社している。お気に入りのゲームはFF14(ファイナル・ファンタジー14)! ストーリーが好き、オンラインでつないで、年齢性別関係ない人とコミュニケーションを取ることも好き。ゲームの中でも役割があって、役割に応じたコミュニケーションを取る、誰かと競争をして技術力をあげる、うまくなりたいという向上心が出てくる、課題をクリアすると経験値があがって余裕が持てる、余裕があると先読みができる、ゲームは仕事に通ずることが多い。

Q:仕事をするうえで心がけてきたことはなんですか?

品質優先でいいものを作りたい! という気持ち。経験を積んで色んなことが見えるようになった。今は原反製造だけでなく、製袋や出荷の業務にも携わるようになって、原反製造から出荷までの品質が全部よくないとダメと感じている。皆が1番いいと思う仕事をして品質につながればいいね。

今回もたくさんのお写真をお借りすることができました! 入社当時の優しい笑顔は全く変わらないですね。ゲームは楽しいよ。みんなと一緒にやりたいなあ。やってほしいなあ。と熱のこもった話をたくさん伺って、さんの新たな一面をみることができました! これからも偉大な先輩として、引き続きご指導よろしくお願ひします。



編集後記

インフルエンザ、コロナウイルスが大流行中とのこと、体調を崩されたりしてませんか? 寒暖差が激しく、体調がおいつかず、ウイルス以外でやられてしまうことも。かくいう編集担当も、10年ぶりぐらいに扁桃腺をやられ熱を出しました。体調管理はしっかりしていたつもりでも、やはり油断は大敵ですね。展示会参加、小学校でのちちまるくん教室、ゴルフ、人と直接会いコミュニケーション取る日々も戻ってきています。健康な毎日をご過ごせるように、手洗い、うがい、換気、加湿をしっかり。どうぞご自愛してお過ごしください。



発行日: 令和5年11月15日
発行: サンプラスチック株式会社
編集: サンプラNews係

今回のサンプラNEWS
33号・冬号は2月中旬発行予定です。